

健康と光線

はじめに

最近の医学の領域で、最も目まぐるしい変貌を遂げたのは免疫学です。

一昔前までの免疫学は、一七九六年にエドワード・ジェンナーが種痘法を創案して天然痘（痘瘡）の予防に成功したことに端を発し、外界から侵入するビールスや細菌など病原体（抗原）に対して自己を防御する抗体を作る、即ち、「疫を免かれる」免疫を獲得させることを主に研究してきました。当時は自己の成分は抗原にならず、免疫現象は自己に有利に作動し不利に働かないとの考えが支配的でした。ところが、自己の成分が抗原になり抗体を作る自己免疫と言

う現象の存在が明らかにされるに至り、免疫機能の異常が病気の原因になることが分つたのです。これを自己免疫疾患と呼びますが、免疫が疫病神になることもあるのです。

今日では、感染症、自己免疫疾患、アレルギーから糖尿病、甲状腺機能亢進症（バセドウ病）など日常遭遇する多くの疾患、更にガンまで免疫に深くかかわっていることが解明されています。

免疫監視機構の強化

近代免疫学は、生体の持つ免疫能、即ち自己と非自己を完全に識別し、決して誤って認識しないことが、病気の予防ならびに治療に極めて重要なことを明らかにしました。これを免疫監視機構と言います。

免疫学の泰斗で「免疫監視機構」を著したバーネットは、免疫監視能力が弱いか、低下している時に、ガンの発生と増殖が容易になるとの考えを提唱し、小児と老人にガンが多い事実を例としてあげました。

この考えの正しいことは、近年著しく進歩した遺伝子工学の手法を用いた研究により立証されました。即ち、ロバート・ワインバーグらは、多様な原因によって正常な遺伝子が発ガン遺伝子に変わると、免疫監視機構がその微妙な違いをうまく識別して除去するが、免疫能が低下してこの機能が働かないで非自

発行所
〒153 東京都目黒区目黒 4-6-18
サナモア中央診療所内
サナモア光線協会
年4回発行
会費 年500円
電話 東京(03) 793-5281
712-5322

己のガン細胞を抗原として識別しないと、抗体が産生されないため、発ガン遺伝子はそのままだり、本当のガンになってしまいうことを証明したのです。

ガンの原因が発ガン遺伝子であり、ガンの発病に免疫能の低下が関係する事実が確認されたことは、感染症の予防法がガンの予防にもなることを示唆します。

サナモアの第一の使用目的は健康法ですと話す一つの根拠はこの点にあります。生命の四大要素は、食物、水、空気、日光ですが、太陽光線を忠実に再現するサナモア光線だからこそ、免疫能を高め身体を強壮にし得るのです。事実、サナモアを使っている、風邪をはじめ感染症にかかりにくくなります。また、糖尿病や慢性腎不全のため免疫能が低下した症例の感染症を防ぐこともよく経験します。そして、これが同時にガンの予防にも役に立つことが、免疫学的にも裏付けられているのです。

免疫に及ぼすサナモアの作用

—感染症からガンまで・予防と治療—

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医学博士 宇都宮 光明

レルギー疾患や前述の自己免疫性疾患のように、免疫異常が病因にかかわっている事実が、免疫についての研究が進むにつれて益々多くの病気で指摘されています。

これら免疫疾患とその治療法

し、サナモア光線の免疫異常抑制効果について考察します。

ウェスタン・オンタリオ大学のジョン・デュプレらは、糖尿病の原因は、自己免疫の機序によってインシュリンを産生するランゲルハンス島が破壊されるためとの仮説にそって免疫抑制剤で治療した結果、発病後二、三週以内の糖尿病病患者では、過半数でインシュリン療法が不要になったと報告しました。

当診療所でも、サナモア光線療法によってインシュリン依存から脱却した症例を経験しています。この医学常識から考えにくい回復は、サナモアに免疫異常を抑制する作用があるからかも知れません。（ただし、医師の指示なしに、勝手にインシュリン注射を止めないでください。）

光線の免疫異常抑制効果は紫外線にあり、副作用のない免疫抑制療法として使用できます。サナモアが自己免疫疾患のみならずアレルギー性疾患の管理、治療に有効な一半の理由はこの点にあります。

宿主側の要因の解明

従来、疾病に対する論議は、病原微生物やガン細胞の側から論じられ、宿主側、即ち患者側の要因については殆んど解明されていませんでした。が、昨今、免疫に関する研究が進み、宿主側の研究も漸く盛んになりました。

サナモア光線は、宿主側の免疫系を調節し、生体の機能を高めることによって、疾病予防および治療に寄与しているのです。



讚光譜

「ボート遊び」 宇都宮義真撮影



体質は、病気になるのにも、病気が良くなるか悪くなるかにも、深くかかわっているのです。だから、病気になるのでからワイワイ騒ぐより、病気にかかり易い体質や、病気が容易に治らない弱い体質の改善こそ、治病保健の根幹をなす問題なのであります。

例えば、結核にかかり易い体質は一見して分る共通の特徴があります。スチルネル氏は此の体質を無力性体質と呼んで、進行性の結核患者はこの体質の人に多いと発表しています。

又、化膿菌が皮膚に侵入して出来る疔や癰(よう)の如き、できもの”にかかり易い化膿性体質の人もあります。このような人では、一寸した傷でも、完全に消毒しても、化膿してしまいます。

蓄膿症(副鼻腔炎)の如きも、体質が大いに関係していますから、如何に手術的に病的粘膜炎を除去したとしても、所詮は対症療法ですから、体質を改善しなければ決して治らないと言われています。

元来、われわれの血液は、外

部より侵入した細菌を殺す作用を持っています。ただ、その力は人によって強い弱いがあります。相応な傷でも、手当もせず自然に治ってしまう人があるのも、化膿菌に対する血液の殺

サナモアと体質改善

宇都宮 義真

する働きがあるのです。光線照射によって、血液の化膿菌を殺す力がどの位強くなるかを実験した結果によりますと、人間の血液では約二割五分、兎の血液では約六割五分の増加を示しています。

しかのみならず、血液について付言すれば、血液の全量を増し、その単位血液量中の赤血球や白血球を増し、各々の赤血球の血色素量(ヘモグロビン)を増し、血色素をよくするのであります。

又、ピンカンセン氏によると、光線照射によって、糖尿病患者のアチドーシス(血液のアルカリ性の程度が低下すること)を予防し得るとのことです。

その上、光線を照射すると、呼吸中枢が刺激されて呼吸が深くなり、血液循環もよくなり、しかも血色素量が増しているため空気中から多くの酸素をとりこみますので、身体全体の新陳代謝も盛んになります。また、食物の消化吸収が完全に行なわれ、且つ有害な物質を解毒する作用が強くなりますので、栄養も良好になるのであります。

最近の各方面で高唱されるようになった予防医学も、目的は体質の改善強化によって如何なる病にも打ち勝つ体力の養成にあるのであります。その一端を担うのがサナモア光線療法です。

既に、光線療法は都市虚張児童の体質の改善と健康の増進とに応用され、断然優秀な成績を証明されているのであります。

これは、光線の多様な作用を介して、体質が改善、強化されたことに他なりません。

又、光線療法が殆んどの病気で効果があるのも、病的な体質を改善し、身体の抵抗力を高めるからであります。

◇ 「光と熱」

昭和11年9月5日発行

— 体質の改善と光線 —

◇ 「光と熱」

昭和11年2月25日発行

— 太陽なくして生物

はあり得ない —
より要約した。

「子宮癌一闘病日記」

(第三回)

E・S 46歳 女性

上野先生から、E・Sさんの3回目の「子宮癌一闘病日記」を送って戴きました。E・Sさんの闘病生活も、既に一年余が過ぎましたが、この間の決して平淡でない闘病の道程を、勇気をもって寄稿してくださいましたことに深く感謝し、ここに掲載させて頂きました。このため、前号に引き続き「応用光線療法学」は休載いたします。

昭和60年2月7日(木)

今日は朝から体がとても快調。おなかの痛みもほとんどない。局部の中にラムネの玉の大ききの腫れ物があり、触ると痛む。

2月8日(金)

友達から電話、昨年の一月に胃癌の手術をしたがはかばかし

くなく、精神的にも参ってしま
い、生きる望みを失った様子。
私は自分の体験から希望を失
つてはいけないとしましめたが、
友達は『やさしいあなたの気持
はうれしいけど、なぐさめるた
めにそんな作り話はしないで』
と言って信用してくれない。で
も、そんなことではいけないと
思い、光線のこと混じえてい
ろいろと話し、日記も見せてた
らやっとな信用してくれた。

友達は「光線療法ってすばら
しいのね。上野先生にも早くお
目にかかりたいわね」と驚いた
ように言っていた。

2月9日(土)

上野先生からお電話をいただ
く。

先生のお元気なお声をきい
て、とび上がらなばかりのうれ
しさ。私の病気の治療の仕方
をいろいろご指導くださる。

(編集者から)この頃、上野
先生はご病気のため床に臥して
いました。

2月15日(金)

肩が重く、頭が重い。おなか
も少し腫れている。朝夕しか
り光線治療をする。局部には十
分照射。

2月22日(金)

腫れもひき、気分もよくな
る。

2月25日(月)

少しおりものがある。

2月28日(木)

足がとても軽い。

3月5日(火)

からだ全体がかるく、ほとん
ど痛みを感じない。

3月10日(日)

友人が見舞にきてくれた。私
を見て

「肌がとてもきれいで、目が
輝いて、羨やましい!!」と連発
して帰った。

3月11日(月)

食慾があり、順調。

3月18日(月)

食慾があり、順調。

3月19日(火)

生理、少し血の固まりが出る。

3月24日(日)

少し白いおりものが出る。

3月26日(火)

おなかのはげしく痛む。固く、
氷をのせているように冷たい。

B・Bカーボンで十五分照

射、やっとな動けるようにな
る。

3月27日(水)
朝から、お小水が出て出てこ
わいほど出る。その後おなか

やわらかくなり、気分がよくな
る。

3月29日(金)

食慾が出る。

3月30日(土)

気分よい。ショッピングに出
かける。

4月1日(月)

長いトンネルからやっとな抜け
出たような気持ち。

4月3日(水)

生理が始まる。

4月4日(木)

固まりのようなものはない。

4月5日(金)

腰が抜けそうに痛い。

4月6日(土)

おなかの痛みはない。

4月10日(水)

生理の出血はほとんど止ま
る。

4月14日(日)

右の乳房がとても痛い。背中
もうずく。

B・Bカーボンで二十分ほど

照射したら、少し和らいだ。

4月20日(土)

この一週間の痛みで、少し疲
勞し、三キロやせた。体力をつ
けなければ、栄養を考えてし
っかり食事をする。

5月13日(月)

少し色のついた、ねばねばし
た、固まりのようなおりものが
出る。

5月25日(土)

子宮の入口のしこりのような
ものが少しやわらかくなる。足
が軽い。

5月26日(日)

内臓の働きが少しづつではあ
るが活発になってきた。

5月27日(月)

右乳房が痛む。首すじから肩
にかけてピンと張り詰めたよ
うな感じがする。

房のまわりにもおなかと同じよ
うな地図が出来た。

4月30日(火)

乳房の痛みがとれない。

5月3日(金)

上野先生の指導をあおぐ。

5月6日(月)

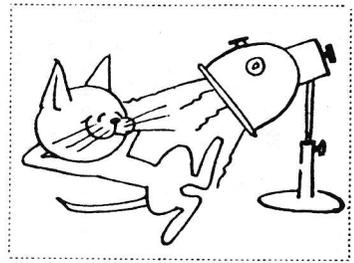
又、乳房がはげしく痛んで苦
しい。

5月13日(月)

痛みが和らぎ、少し調子がよ
くなる。

5月28日(火)

友人から食養生の話を聞く。
もう一息、サナモア光線療法
で体質を改善し、上野先生のご
指導に感謝しながら、毎日を過
しています。



治験例報告

☆水頭症

症例 5カ月、男児
症状 頭蓋が補助のように非常に大きく、体も足も手も動かさない。小児専門病院で診察の結果、頭の手術をして水を取るしか治療法はなく、このままでは生長しないとされた。

療法経過 Aカーボンにて腹部(集光器使用)膝から足、腰から足裏、背中から腰に各五分、一日一回照射したところ、十日目ぐらいから手足を動かすようになったので、後は指示通り家庭で治療した。その結果、診察医が驚く程の回復力を示し、一月を過ぎた頃には頭が小さくなり、一年で普通児と変わらなくなった。今は幼稚園に通っている。

☆知恵遅れ

症例 5才、女児

症状 言葉の発達が遅れている。

療法経過 Aカーボンにて、腹、膝、足裏、背、小脳(後頭部)各五分、このうに小脳と足裏は一日二回照射、このうに治療開始後二カ月ぐらいいから、言葉もよく言うようになり、動作も活発になった。

神戸市 ウエノ光線療法 上野 貞氏報告
TEL 〇七八一三三二一三五八

☆ケロイド

症例 13才、女性
症状 リンパ節の手術後、三センチ強の傷跡が赤くケロイド状に隆起。

療法経過 ABカーボンとADカーボンを二日おきに交互に使用、患部は集光器を使い熱くして我慢できなくなるまで、腹は気持ちのいい間照射。

愛用者だより

☆心臓停止から蘇生

北九州市 馬郡治子

主人が立ち上ったとたん倒れ意識はおろか心臓も呼吸も止まってしまいました。あわてて心臓マッサージと人工呼吸をしたところブルス(脈)と呼吸がどまりましたが、しばらくするとブルスが弱くなってゆきます。そこで、足の裏にサナモアを照射したところ、約一時間でしっかりしたブルスになりました。その後、足、膝、肛門、腹、腰へ照射、ホッと落ちついた頃は

☆顔面のシミ

症例 40才、女性
症状 額、眼(眼瞼)、頬、鼻の下、顎などあちこちに、黄褐色のシミがある。

この症例は、前述のケロイドの母親で、娘の治療経過に吃驚して、シミの治療を希望した。なお、二度子宮外妊娠の手術をしている。

療法経過 顔は洗頭後にBBカーボンで照射(集光器使用)他に足裏、足首、膝、腰、背、後頭部、喉(甲状線)腹、右上腹部(肝臓部)などは、AA、A、ADカーボンを三、四日交代で使い、気持ちのよい間熱くなるまで照射した。

治療を始めて四、五日目頃から肌がむけ始め、一週間目位してから、顔をこするとぼろぼ

東の空が明るくなってまいりました。しかし、一分間に一度位の割合でブルスにリズム不整が出ていて心配しましたが、三カ月でそれもすっかり治りました。

もし、あのままでしたら俗に云うボックリ病ということになったと思います。改めてサナモアに感謝しております。私は、現在看護婦として病院勤めをしています。将来、光線治療を開き、人々の役に立ちたいと考えております。

☆心筋硬塞

広島県佐伯郡 越智静人
家内ともども何かあるとす

☆湿疹、アルコール性肝障害

症例 32才、男性
症状 平素から仕事柄酒を飲む機会が多く、その度に湿疹も悪化し慢性化した。痒くてたまらない。

療法経過 カーボンはABを主として、時々AAを使用、足裏、膝、腰、背、後頭部、腹および特に痒みのひどい部分に照射した。

ぐサナモアのお世話になっていきます。安芸の宮島まで自転車です三十キロの道のりを走っても、サナモアをかけると疲れがスリットとれます。

実は私は昭和四九年以来三回心筋硬塞になりましたが、その都度サナモアで救われて来ました。

以前は東京に住んでいましたが、当地広島は私の出生地で転地療養のため移り住んでいます。親族、友人、知人は一人として生存していませんが、サナモアを友として健康な毎日を送っております。

☆火傷(右下半身)

症例 46才、女性
症状 てんぷらをあげてから、油の後片付けをしようとした時に手が狂って、煮えたぎった油を右側の腰から下へ掛けてしまい、可成りの火傷を負って来院した。

療法経過 初日は鎮痛効果や局所充血作用に優れたBカーボンを使用し、始めは距離を約三十センチ離して十分照射、痛みが軽くなるのを待って二十センチ、十センチと近付けた。そして、水泡は消毒した針をさして水だけ出して約三十分、赤くなった患部には約二十分、合計一時間三十分照射した。

二日目から、殺菌、肉芽形成に優れたAカーボンを使い、順を追って各三十分ずつ照射、五日目からは、各二十分に変えて治療した。また、十日目より、腹十分、腰五分、足裏十分の照射を追加。

全経過二十八日で、跡形もなく完治した。(初日から痛みも和らぎ、日に日によくなったため、大変喜ばれました。)

川崎市 東京光線治療院 海渡 一二三氏報告
TEL 〇四四一七三二一五〇六七

春日市 前田光線治療所 前田 ミサ氏報告
TEL 〇九二五八一二〇三九

□紫外線は「お肌の大敵」か
 答えはNOです。絶対にNO
 です。

これは、「食べ物」は消化器の大敵」と言っているようなもので、食べ物も食べ方を誤れば胃炎、消化不良、下痢、食中毒など雑多な病気を起こしますが、食べるのを止める人はありません。食べ物が必要なことは分っているからです。

ところが、紫外線浴については、本当に「肌の大敵」と思い込んでる人がいます。その理由は、紫外線の性質や意義をよく理解してないためです。

まず、日光浴について言えば、日差しの弱いうちから皮膚を日光にさらしてれば、強い日差しに耐えられるように日やけします。この皮膚の順化をサンタンと言います。これに対し、日頃は屋内で暮している人の皮膚は、日光に無防備ですから、急に日やけしようとするれば火傷するかも知れません。これはサンタンと言いますが、食事におけるなら、絶食していた人が、一度に何日分も食べようとするようなものですから、障害があるて当り前です。ただし、素肌の日やけならず、一時的にはいくら醜くても元の肌に戻ります。この極く初歩的なミスに付け込んで、化粧品メーカーは紫外線の害を誇大に強調し、紫外線から「お肌を守る」化粧品の大キャンペーンを行います。それを信じて化粧品を使った人

に取り返しのつかない弊害をもたらすとしたら皮肉としか言いようがありません。この化粧品公害は、薬害同様、医学的には常識であるにも拘らず、化粧品メーカーは責任を紫外線に転化しようとし、マスコミも告発しないために「紫外線はお肌の大敵」と思い込んでしまうのでしよう。

の訳は、化粧品も化学物質ですから、直射日光に当たると変質して、化粧品としての品質や、皮膚に塗布した際に皮膚に与える影響が変わる恐れがあるからです。この化学反応を起こすのは、主に紫外線です。紫外線は、別名化学線の名が示すように、化学反応を起こし、物質を変質さ

ムがあります。しかし、シミまで防ぐと言えば拡大解釈し過ぎです。逆に、シミのある患者に原因を聞くと、化粧品と答える人が殆んどです。それにも拘らず、化粧品メーカーは「日やけによるシミを防ぐ」と宣伝し、その言葉を信じた女性は、化粧品と言う異物が肌に悪影響があると露知らず、直射日光の下

続 日光浴の功罪

サマーファンデーションで メイクアップにご注意

夏になると、化粧品メーカーは新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどのマスメディアを動員して、化粧品をしないで日光、特に紫外線を浴びると、シミ、小じわを増やし、皮膚を老化させ、遂に皮膚ガンになると脅かします。私とて美容の必要なことは否定しませんが、女性が美しく見せたいと願う心理を巧みに利用し、物言わぬ太陽をいいことに、強い日差しの下で化粧をするようにしむけることには大いに異論があります。

もしも太陽が口を利けるとしたら、「お前ら人間どもが現れるずっと前から、地球にどれだけ恵みを与えたか考えろ。」「太陽が無かったら、一日たりとも生きられないんだぞ」と謂れなき誹謗をなじるでしょうか。いや、笑って何も言わないかも知れません。しかし、私は光線療法を研究している立場から、黙って見過ごすことはできません。

このうち、皮膚ガンと紫外線との関係については、以前本紙上に拙文を掲載しましたので、(昭和五十八年十月一日発行、第三二号、日光浴の功罪)今回は化粧品のコマーシャルで兎角問題にされては、シミに的を絞って、化粧品メーカーの言い分を鵜呑みにしてはならないことを述べ、次いでシミの光線療法について付言します。

□シミの原因は

化粧品が日やけによるシミを防ぐと信じている人はいませんか。でもちょっと一緒に考えてみてください。

化粧品の使用書に、直射日光の当たらない場所に保管するようにと注意書きがあります。そ

せる作用があります。また、生体に対しては日やけを起す。体内で光化学物質を作り出す。このように、紫外線が複雑な作用を持つために、話がもつれ、誤解が生じるのです。

化粧品メーカーには、日やけを嫌がる人向きに、紫外線吸収剤を配合した日焼け止めクリー

に堂々とかけて行くのですから、空恐ろしい話です。現に、皮膚科の医師は、化粧品が皮膚に栄養を与え、肌の老化、小じわを防ぎ、肌を清浄にし、日やけによるシミを防ぐと言ふ類の化粧品メーカーの効能に対して否定的ですし、シミの原因として化粧品をあげる例は

増えています。

□増加したシミの患者

統計によれば、シミの患者は戦前に比べて四〇倍から五〇倍に増加したことが指摘されています。これが総て化粧品のせいとは言えませんが、可成りの部分で化粧品が関係していることは、今では医学的常識です。

この際、危険な化粧品は、かぶれを起こすような副作用の強い化粧品ではない点に注意しなければなりません。それは、かぶれる化粧品は二度と使わないためむしろ安全なのに対し、一見何んの変哲もない化粧品は、常時使いますので、気付かぬうちにじわじわと肌を痛め、シミの原因になるからです。

しかし、化粧品メーカーは、シミと化粧品との因果関係を容易には認めませんし、渋々認めざるを得ない場合には、巧みに個人の問題にすり変えてしまします。即ち、本人の体質が化粧品に特別に過敏なために起きた極めて例外的な不幸な出来事にしてしまふのです。この問題の処理方法は、薬の副作用の場合と同じです。確かに、化粧品に過敏かどうかと事前に知るのは

繁雑で、被害は出なければ分かりません。そのため、他人事のように思うかも知れませんが、ひょっとして似た体質を持っていて、かも知れませんが、化粧の上から直射日光を浴びるような危ういことは避ける方が得策(六ページへ続く)

サナモア中央診療所
 医学博士 宇都宮 光明

(五ページから続く)

（サナモアを顔に照射する時、必ず化粧を落とし、石ケンで洗顔してからにして下さいと言う理由はここにあります。）

女子顔面黒皮症

(リール黒皮症)

女子顔面黒皮症は、第一次大戦後、ヨーロッパ諸国で見られるようになり、我が国では第二次大戦後に問題になった疾患ですが、別名はオーストリアの皮膚科医、リールにより記載されたためにリール黒皮症と言います。

本症に罹患する主な原因が化粧品であることは今では疑問の余地はありませんが、化粧品メーカーは患者の体質異常に重点をおいて全面的に責任を認めようとはしていません。しかし、本症の発生が化粧品の普及と軌を一にして増え続けており、病名に女子の文字がついてることから、化粧品公害と言われます。なお、現在に至るも化粧品のどの成分が原因になっているかは明らかになっていませんが、恐らく油脂か香料が紫外線により光化学反応を起こし、これが作用して発症すると考えられています。

症状は、初め顔が赤く痒くなります。この時点で、少なくとも使用中の化粧品は止めなければいけません。そのまま使い続けると、両側に黒褐色あ

るいは黒紫色の境界不鮮明な色素沈着を起こします。ここで絶対にしてはならないことは、外出に際して黒くなった肌を隠すため、さらに濃く化粧をすることです。仮に、原因が肌に合わない化粧品だとしたら、悪循環を繰り返すことになり、どんどん悪くなります。確かに、紫外線もシミに関係しますが、あくまでも化粧品で顔を汚して、浴びるのが原因ですから、化粧品でアレルギー反応を起こす人は、化粧品が紫外線から肌を保護するなどと考えてはいけません。もし、強烈な夏の紫外線を避けたいならば、つばの広い帽子や日傘やパラソルを使うことです。この方が効果も確かです。

シミの光線療法

「シミを悪化させないためには、紫外線にあたらないことです。ゴルフ、スキー、海水浴などは避けましょう。」シミが気になる人は化粧法をくふしてかくすことが最良の方法です。と書いてある家庭医学書があります。これを読んで、シミのない人は成る程と思うかも知れませんが、化粧品でシミになった人は外出まで禁じられて悶悶とせざるを得ないでしょう。他の皮膚病の患者が「先生の言う通りにしたら食べるものがない」とよく言いますが、シミも同様で、見掛けをよくすることだけしか考えない欠陥を露呈しています。それはさておき、化粧品でシミを知らない人も、紫外線でシ

ミになると言う話は知ってまゝで、シミの光線療法と言われても躊躇するかも知れません。しかし、ここで強調したいことは、サナモア光線療法で使う範囲の紫外線を清潔な素肌に照射する限り、一過性にシミを目立つようにしても、決してシミを作ったり悪化させたりしないことです。中年女性を襲う外因性のシミの主な原因は、化粧した顔に紫外線があたるため、素肌に紫外線を浴びたためではありません。

さて、シミの光線療法ですが、住々にして期待以上の効果をみる場合があります。カーボンはAカーボンとCカーボンを組み合わせるか、Cカーボンを使用し、患部(顔面)に三十分や強めに照射します。これで表皮を一度ならず二度三度と剥脱させることによって、時に永久にその色素細胞を除けることができます。

この機転について、日大教授梅津氏は単なる器械的な剥離によるだけでなく、患部の血行が盛んになることによって組織の物質交換が高まり、組織の化学的構造に変化を与え治癒的效果を現わすと述べています。

ただし、治療のなかなか困難な例や、良くなっても屢々再発する例もありますから慎重に対処する必要があります。



サナモア光線協会

趣意書

光線療法が、人々の健康に寄与し得ることは疑いないにも拘らず、現状の医療体系は薬物手術に偏し、光線の効果についての一般の認識はなお不十分と言わざるを得ません。このため、人々の健康を願うと共に光線療法について、啓蒙、普及活動を行う目的で、サナモア中央診療所内に、サナモア光線協会を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、会員相互の懇親、体験発表意見交換を通して、光線療法についての理解を深めるため「健康と光線」を季刊にて発行します。

サナモア光線協会
医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。
入会希望者は、左記宛御申込み下さい。
〒153 東京都目黒区目黒4-1-18
サナモア光線協会 TEL(03)七九三-一五二八-一
七二一-五三三三